

申15号ワンマン運転の拡大に関する要求申し入れ

ワンマン運転の拡大に対して、

安全・サービスレベルの低下を懸念する声が……

現場からの警鐘乱打を要求として29項目にまとめ提出！

ワンマン運転の拡大については、10月15日に申12号の団体交渉を行いました。解明交渉で会社は、「ワンマンの拡大によって安全レベルが下がるとは思っていない」「ワンマンの拡大によって安全・快適な移動空間が提供できる」「線区の特情等を踏まえ必要な対策を行っていく」「人口減少に対応していくために、列車本数を残すのか、ワンマンにするのかを検討した上で生産性を上げた輸送体系にしていく」などの認識を明らかにしていますが、検討中や線区に応じてという曖昧な回答が多く、安全・サービスレベルの向上あるいはお客さまが求める輸送サービスという観点においても労使間の認識の一致が図れたとは言えません。

そのため、本部は職場からの声をもとに、本日申15号として要求申し入れを行いました。

職場と仕事と生活を守ろう

- 1～4. 通勤・通学時間帯の中・長編成、新在直通列車、災害発生率の高い沿岸部及び山間部においては、ワンマン運転を行わないこと。異常時の始発駅での対応はツーマンを基本とすること。
5. 車載ホームモニタ、車側カメラ及びミリ波伝送装置の故障時は、車両交換又はツーマンとすること。
6. 線区ごとに車両の編成両数を統一すること。
7. 運転士の追加業務と内容を明確にすること。
8. ホームドアの設置駅では最低60秒の停車時間を確保すること。また、ホームドアが故障した場合のドア閉扉の取扱いについては、駅係員による乗降終了合図とすること。
9. 安全を担保する観点から運転士の集中力を考慮し、継続乗務時間を一時間短縮すること。
- 10～12. 中編成は、指令-客室間通話機能及び各駅にスマートホームドア又はロープ昇降式・パー昇降式ホームドア、長編成は、各駅にホームドアの設置を必須条件とすること。
13. 無人駅におけるドア扱いについては短・中・長編成に関わらず最前部乗降を基本とすること。
14. 両替機については、ICカードのチャージ及び高額紙幣の使用を可能とすること。
- 15～16. Suica対象エリアへの簡易型Suica改札機の設置と運賃通脱の具体的な対策を講じること。
17. グリーンアテンダントからの指令への連絡は、アテンダントセンターからの対応を基本とすること。
18. 運転士に対する教育・訓練の在り方を明確にし、サービスに関する教育の徹底を図ること。
- 19～20. 避難誘導訓練の実施と防災マップの徹底。地方自治体等との事前協議と利用者への周知を図ること。
21. 各地方における輸送量（列車本数）の維持・向上を図ること。
22. 車両の置き換え計画において、ワンマン列車への仕様の転用改造は、車齢20年未満とすること。
23. ワンマン運転の拡大は、前段に試行期間を設け実施日の1年前に提案し、課題等の改善を図ること。
- 24～25. 車掌の技術指導担当、地区指導センター、地区駅及び管理駅の体制を強化すること。
26. 中・長編成ワンマン運転を実施する際は、一定程度の定着が図れるまでホーム要員を配置すること。
27. 車掌の要員整理（算定基準）は、ワンマン解除等の波動要員を付加すること。
28. 車掌の要員削減を想定し車掌に対する面談を行い、異動等は本人希望を最大限尊重すること。
29. 新たにワンマン運転を拡大する職場においては、あらためて説明会等を実施すること。